

MRA/Expressway によって UDS 連絡先フォト解決を設定し、解決して下さい

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[Jabberconfig.xml ファイル](#)

[LDAP の UID パラメーター マッピング](#)

[Expressway コア/ビデオ コミュニケーション マネージャ \(VCS \) コントロールを設定して下さい
確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料は Jabber が Mobile Remote Access (MRA) に登録されているときユーザ探索サービス (UDS) によって連絡先フォト解決を設定し、解決するためにプロシージャを記述したものです。

前提条件

要件

Cisco は UDS 必要条件上の連絡先フォト解決のナレッジがあることを推奨します:

- イメージはどこかにホストする必要があります。イメージをホストする別途の Webサーバがある必要があります。
- イメージは「JPG」形式にあるおよび 128 の x128 ピクセル大きさを分類する必要があります。
- Jabber はその場所にアクセスできなければなりません。Webサーバがネットワークの外にあって Webサーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) が IP アドレスは内部から完全に解決可能、到達可能である必要があります。
- 各イメージ ファイルは「uid.jpg」として「uid」が各 Jabber ユーザのユーザー ID であるところで名前付けスキームがなければなりません。これはコンフィギュレーション ファイルの設定コードの tandem ではたります。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

背景説明

Jabber 管理者は Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) によって Cisco Expressway で Mobile Remote Access (MRA) を展開する前にフォト連絡先解決を内部で設定します。MRA がユーザ探索サービス (UDS) をデフォルトで利用するので外部に ログイン MRA によって、連絡先フォト解決しない時 LDAP が連絡先フォト解決のために使用される時。管理者は MRA にはたらくこのための UDS によって連絡先フォト解決を設定する必要があります。Jabber は外部に接続するときこうすれば、ディレクトリ出典として UDS に自動的に切り替え、各ユーザ向けの連絡先フォトを引っ張れます。

管理者が LDAP よりもむしろ既に UDS を顕著に使用して、連絡先フォト解決を既に設定してもらった場合管理者 Expressway を設定する必要だけおよび他のステップをスキップできます。

設定

Jabberconfig.xml ファイル

カスタム Jabber 構成ファイルを使用する場合、これらのファイルがグローバルなコンフィギュレーションファイルに書かないことを確かめる必要があります。すなわち、この作業を作るためにグローバルなコンフィギュレーションファイルに付け加える設定は優先する必要があります。

。

設定は <Directory></Directory> タグに追加される必要があります。それは現在のあらゆるディレクトリ設定に加えて既に追加することができます。

```
<Directory>
<DirectoryServerType>UDS</DirectoryServerType>
<PhotoUriWithToken>http://webserverFQDNorIP/images/%%uid%.jpg</PhotoUriWithToken>
<UdsPhotoUriWithToken>http://webserverFQDNorIP/images/%%uid%.jpg</UdsPhotoUriWithToken>
<UdsServer>CallManager IP or FQDN</UdsServer>
<MinimumCharacterQuery>3</MinimumCharacterQuery>
</Directory>
```

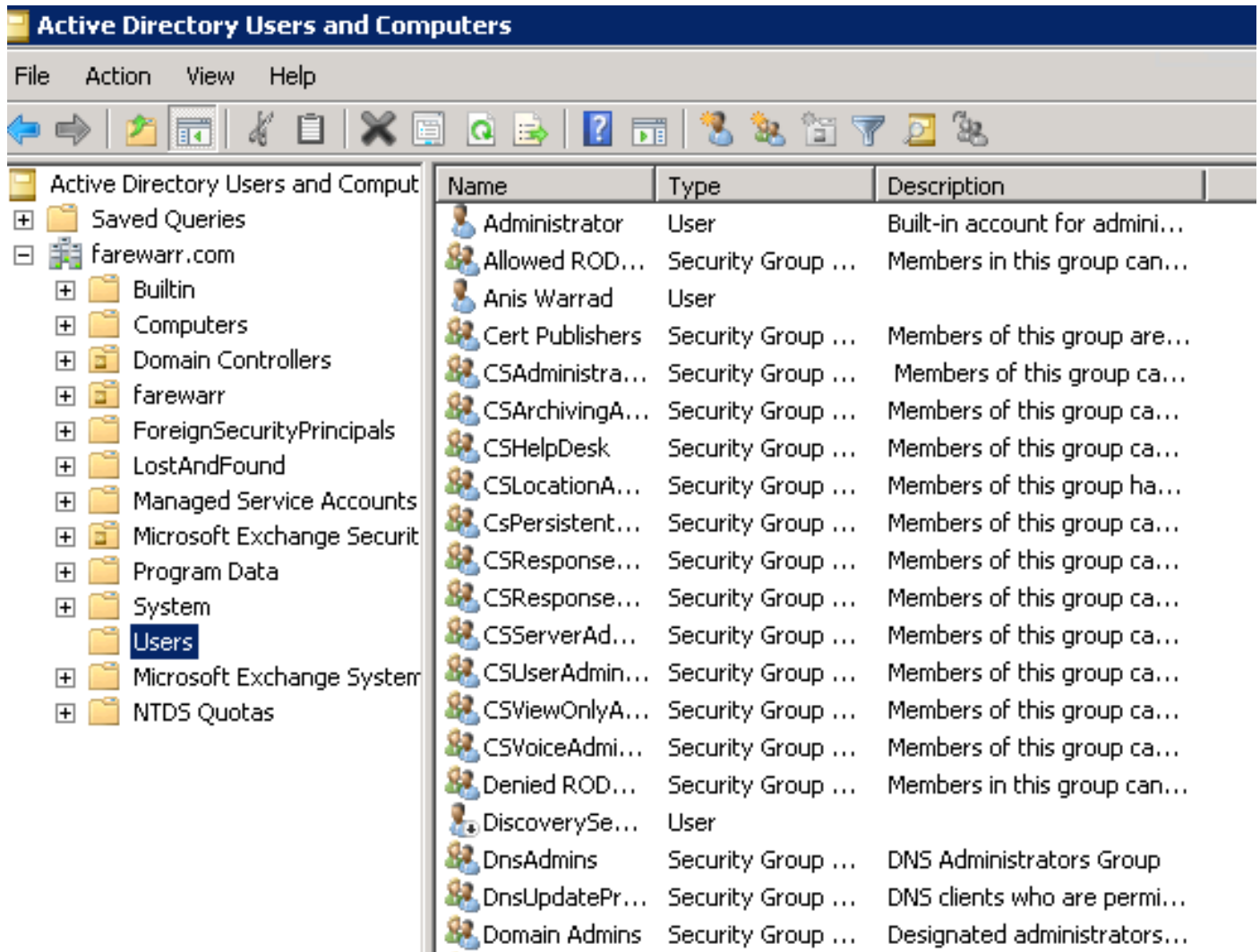
注: URL の「%%uid%.jpg」部分は Jabber を各ユーザのユーザー ID のワード「uid」を代

わりにするように告げます。それをにマップする誰 Jabber が確認することは非常に重要どこでイメージを見つけるかであり。

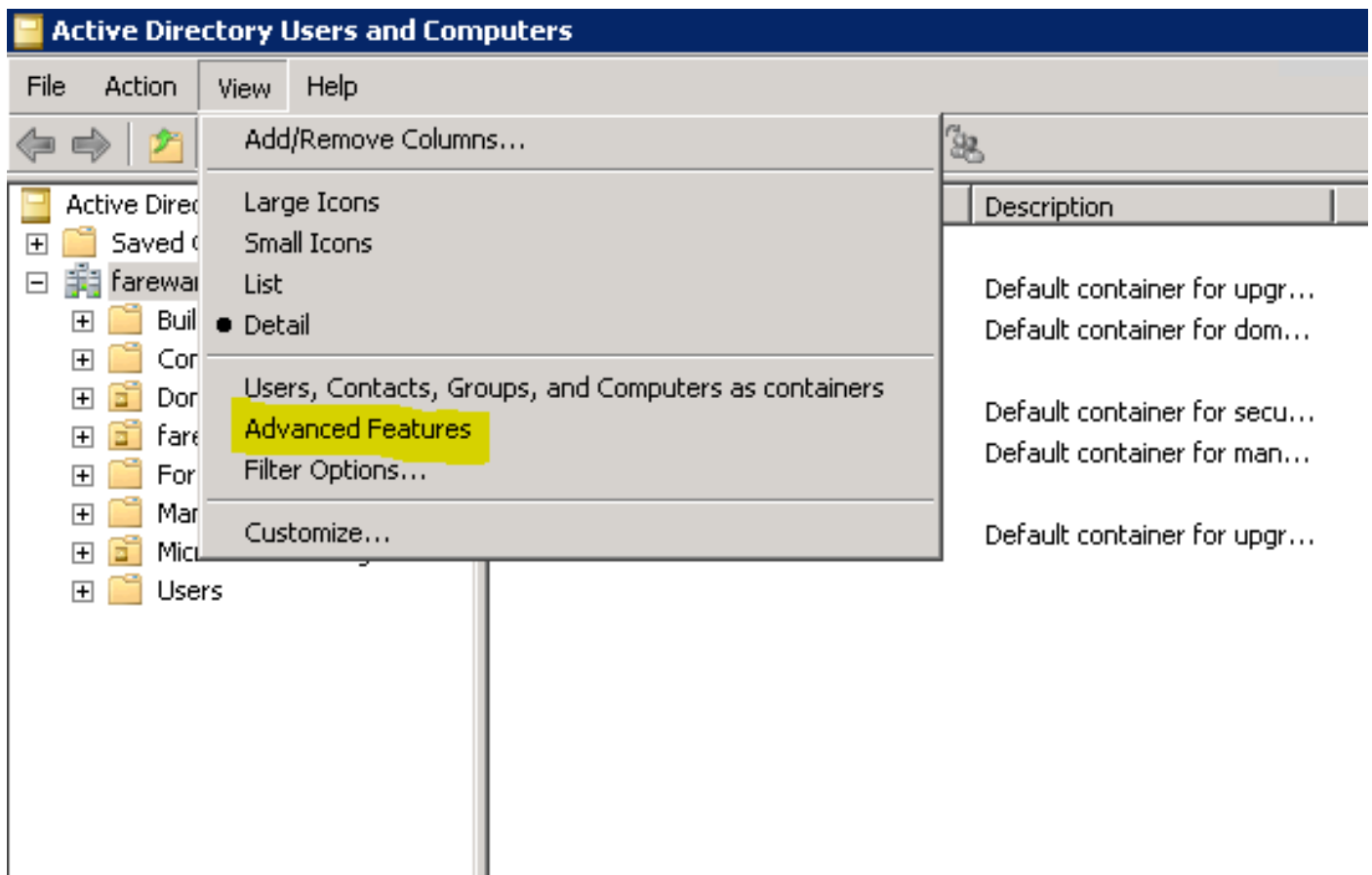
LDAP の UID パラメーター マッピング

ユーザにイメージをマップことできる必要を早口に喋って下さい。LDAP サーバがある場合、各ユーザ向けの UID パラメータを設定する必要があります。UID パラメータはそのユーザ向けのユーザ ID です。

ステップ 1.ユーザを見つけて下さい。




ステップ 2. View > Advanced Features の順に選択して下さい。



ステップ3.アトリビュート エディタ タブをクリックして下さい。

Fareed Warrad Properties [?] [X]

Published Certificates | Member Of | Password Replication | Dial-in | Object
Security | Environment | Sessions
Remote control | Remote Desktop Services Profile
Personal Virtual Desktop | COM+ | UNIX Attributes | **Attribute Editor**
General | Address | Account | Profile | Telephones | Organization

 Fareed Warrad

First name: Initials:

Last name:

Display name:

Description:

Office:

Telephone number:

E-mail:

Web page:

ステップ 4.ユーザー ID で各ユーザ向けの UID パラメータを設定して下さい。

ステップ 1. VCS コントロールへのログイン。

ステップ 2. > ユニファイド コミュニケーション > 設定 『Configuration』 を選択して下さい。

The screenshot shows the Cisco TelePresence Video Communication Server Control interface. The 'Configuration' tab is highlighted in yellow. The 'Overview' section is active, displaying system information and resource usage. The system information includes: System name, Up time (72 days 9 hours 31 minutes 30 seconds), Software version (X8.1.1), IPv4 address (14.48.44.40), and Options (10 Non Traversal Calls, 10 Traversal Calls, 2500 Registrations, Encryption, Advanced Networking). The resource usage section is divided into three categories: Unified CM calls, VCS traversal calls, and VCS non-traversal calls. Each category lists metrics such as Current video, Current audio (SIP), Peak video, Peak audio (SIP), License usage current, and License usage peak. All metrics are currently at 0 or 0%. A link for 'For more detail see the resource usage page' is provided at the bottom.

Category	Metric	Value
Unified CM calls	Current video	0
	Current audio (SIP)	0
	Peak video	0
	Peak audio (SIP)	0
VCS traversal calls	Current video	0
	Current audio (SIP)	0
	Peak video	0
	Peak audio (SIP)	0
	License usage current	0%
	License usage peak	0%
VCS non-traversal calls	Current	0
	Peak	0
	License usage current	0%
	License usage peak	0%
Monitored resource usage	Traversal and Unified CM calls	0%
	Non-traversal calls	0%
Registrations	Current	0
	Peak	0
	License usage current	0%
	License usage peak	0%

ステップ 3. HTTP サーバ割り当てリストを 『Configure』 をクリックして下さい。

The screenshot shows the Cisco TelePresence Video Communication Server Control interface with the 'Configuration' tab selected. The 'Unified Communications' section is active, showing the 'Configuration' sub-tab. The 'Unified Communications mode' is set to 'Mobile and remote access'. The 'IM and Presence servers and Unified CM servers' section contains two links: 'Discover IM and Presence servers' and 'Configure Unified CM servers'. The 'Advanced' section contains two links: 'Configure HTTP server allow list' (highlighted in yellow) and 'Show advanced settings'. A 'Save' button is located at the bottom left.

ステップ 3. 『New』 をクリックして下さい。



ステップ 4. Webサーバの IP アドレスか FQDN を設定して下さい。エントリを『Create』をクリックして下さい。



確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

Jabber を終了し、キャッシュを削除し、記録 外部に今できるはずです。連絡先フォト解決ははたらく必要があります。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

連絡先フォトがはたらかない場合、問題を解決するためにこれらのステップを完了して下さい：

ステップ 1： Jabber コンフィギュレーション ファイルをチェックして下さい。抜けていたタグ角カッコがあり、フォト URL は正しいはずです。

呼び出します。 Jabber クライアントは新しいコンフィギュレーション ファイルをダウンロードする必要があります。優先するカスタム設定コンフィギュレーション・ファイルがなければなりません。

ステップ 3 LDAP サーバを、UID パラメータ ユーザ向けに正しい必要がありますチェックして下さい。

ステップ 4 FQDN を使用する場合、Jabber と使用する Personal Computer (PC) から解決する必要があります。 nslookup はこれが問題であるかどうか確認を助けます。ユーザのイメージのための URL をブラウザで入力し、ロードするかどうか参照して下さい。これすべてがはたらく

場合、次のステップは Jabber 問題レポートを引っ張ることです。

ステップ 5 Expressway C はサーバを許可するために正しく設定する必要があります。

前の項目すべてがチェックされる場合、Jabber 問題レポートを引っ張り、PC からパケット キャプチャを得てください。問題レポートはイメージを解決することを試みるように各ユーザ向けの修正されたフォト URL を示します。それはイメージを見つけることができないと言えばそれは Webサーバまたはネットワークの問題であるかもしれません。

連絡先問題のための問題 Report キーワード

Photos, Contacts, and Directory Search

[csf.person.adsources] - Component level resource for directory and contact information. Shows results of searches performed in Jabber.

[csf.person] - Component level information specifically about contacts in Jabber (and those searched) along with photo information

"BuddyListEventListener" - Keyword that shows up when Adding and Removing contacts

"onPhotoDownloadComplete" - When Jabber attempts to download contact photos, it will be noted by this keyword along with success

or failure information. "sendGetRequest" - URI Substitution for Photos will include this

keyword in the URL request to the Web Server "HttpClientImpl" - Keyword shows HTTP data and requests for photos, CURL, and WebEx Meetings PersonResolutionHandler - This keyword is good

for discovering where Jabber attempts to resolve contacts through AD and Outlook.

May not be available in sub 9.6 versions. "searchString" - This displays the letters a user types in the Jabber search or call field. "string2search" - This keyword is the result of the

searchString user entered information. It's what Jabber will actually use to search in local cache, Outlook Address Book, and Active Directory "getRecordWithPhoto" - When using AD as the source for photo downloads, this keyword provides the point at which Jabber downloads

the photo from AD. "ContactCard" - (11.x) The Contact Card feature used when hovering over a contact uses this keyword